

令和3年8月25日

新潟市水道事業管理者
水道局長 佐藤 隆司 様

新潟市水道事業経営審議会
会 長 紅露 一寛

新・新潟市水道事業中長期経営計画（新・マスタープラン）の
事業・取り組みに関する2次評価について（報告）

令和3年8月25日に開催した、令和3年度第1回新潟市水道事業経営審議会において、
新・新潟市水道事業中長期経営計画（新・マスタープラン）の令和2年度の事業・取り組み
に関する2次評価及び中期実施計画重点目標の達成度評価について審議した結果、下記の
とおり決定しましたので報告します。

記

1. 令和2年度事業・取り組みに関する2次評価の結果・・・別紙のとおり
2. 中期実施計画重点目標の達成度評価の結果・・・別紙のとおり

令和2年度 新・マスタープラン2次評価

施策	事業・取り組み	水道局1次評価		方向性	経営審議会評価
		効率性	有効性		
Ⅰ 水質管理の充実・強化	Ⅰ-1 水源水質の監視	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	Ⅰ-2 水安全計画の充実・適切な運用	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	Ⅰ-3 水質管理体制の強化	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	Ⅰ-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	Ⅰ-5 分かりやすい水質情報の提供	-	-	-	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、体験型広報活動が実施できず、配布資料の見送りによる予算未執行もあり、1次評価ができない状況はやむを得ないと判断できる。今後、感染症の感染拡大状況に応じて、水道事業の運営に支障のない範囲内で、活動内容を工夫した啓発・広報活動を検討・実施するなど、状況に応じた事業展開をお願いしたい。
Ⅱ 給水装置における水質保持	Ⅱ-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	Ⅱ-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	Ⅱ-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
Ⅲ 水道施設の計画的更新	Ⅲ-1 浄配水施設の計画的更新	C	C	維持	予算規模が大きく、水道システム維持の根幹をなす事業であることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。
	Ⅲ-2 管路施設の計画的更新	C	A	維持	予算規模が大きく、水道システム維持の根幹をなす事業であることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。
	Ⅲ-3 鉛給水管の計画的更新	C	D	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
Ⅳ 震災対策・体制の強化	Ⅳ-1 浄配水施設の計画的耐震化	C	C	維持	引き続き、計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。
	Ⅳ-2 管路施設の計画的耐震化	C	B	維持	予算規模が大きく、水道システム維持の根幹をなす事業であることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。
	Ⅳ-3 重要施設向け配水管の耐震化	D	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	Ⅳ-4 配水管網のブロック化の推進	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	Ⅳ-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	Ⅳ-6 事故・災害時における復旧体制の強化	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、各種計画やマニュアルの継続的な点検・改善や訓練の定期実施を通して、発生時に有効に機能するように努めること。

施策	事業・取り組み	水道局1次評価		方向性	経営審議会評価
		効率性	有効性		
V 経営基盤の強化	V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-2 定員・給与の適正化	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-4 遊休資産の有効活用	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-5 時代に即した料金制度等の検討・実施	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-6 水道事業経営審議会の効果的運用	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VI 積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	VI-1 戦略的な広報の実施	-	-	-	お客様アンケート実施年度の見直しのため、当該年度のアンケート実施を見送ったため、1次評価ができない状況はやむを得ないと判断できる。次年度以降、計画に沿って事業を推進すること。
	VI-2 お客さまの意見・要望の把握	-	-	-	お客様アンケート実施年度の見直し、及び水道モニター事業の中止のため、1次評価ができない状況はやむを得ないと判断できる。次年度以降、計画に沿って事業を推進し、お客様の意見・要望の把握に努めること。
	VI-3 分かりやすい経営情報の開示	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VI-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VII 技術・知識を有する人材の確保と育成	VII-1 人材育成と専門性の強化	C	D	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、研修の実施に際しては、必要に応じてwebミーティングやオンデマンド型動画教材の活用など、局内でのICTの活用を検討すること。
	VII-2 諸外国との水道技術研究交流	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VIII 環境に配慮した事業運営	VIII-1 建設副産物の再利用促進	C	A	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VIII-2 水道局環境計画の策定と推進	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。